

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人佛子園 三草二木西園寺		
○保護者評価実施期間	R8年2月26日		～ R8年3月4日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24名	(回答者数) 21名
○従業者評価実施期間	R8年2月20日		～ R8年3月1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 9名
○事業者向け自己評価表作成日	R8年3月5日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	地域コミュニティセンターとして、温泉、カフェ、ゴッチャ！ウェルネス(スポーツジム)が併設されている。	家族での利用が可能。活動プログラムに温泉があり入浴マナーや社会性を学ぶことができる。 ゴッチャ！ウェルネスではマシンを使用して、定期的に運動習慣を取り入れることができる。	運動プログラムをさらに取り入れることで、ひとりひとりの身体の発達に合わせた支援に取り組んでいく。
2	社会性を学ぶ機会が多い。	地域コミュニティセンターとして、地域の方や一般の利用者と常に接している。温泉やスポーツジムを利用しながら利用のルールを学ぶことができる。 カフェでは自分でメニューを選択し、スタッフのサポートを受けながらレジでお金の支払いをすることで社会経験を積むことができる。	外出プログラムで公共交通機関などを利用しながら、さらに社会経験を積むことができるよう機会を増やしていく。
3	地域とのコミュニケーション	日常的に地域の住民が行き来する施設であるため、様々な場面で交流や関わりが生まれている。季節の行事(夏祭り、ハロウィン、クリスマスなど)には、地域を巻き込む仕掛けを行い、住民にも協力を依頼し、児童との交流の機会が確実に設けられ、恒例となっている。	住民の皆さんが児童の見守り隊の役目を担ってくれたり、夏休みの宿題お手伝いやボランティアに繋がるようになったら良い。活動場所の提供を地域と相談していくことで、地域の小学校とも交流し、交流の場を広げていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	面談の機会が少なく、ご家族に対する支援プログラムが充実していない。	年間を通しての面談のスケジュールをご家族と共有できていない。	定期的なご家族との面談の機会を設ける。
2	非常災害時の訓練や取り組みの様子が家族に伝わっていない	プログラムに掲載しきれない活動がある。情報共有するためのツールが少ない。	情報共有をするためのツールを増やしていく。マニュアル等の更新があれば保護者にも共有していく。
3			